

1 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 武樋 まどか

1. 音楽を学ぶねらい

表現（歌唱）及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2. 学習目標

表現（歌唱と器楽）と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。

鑑賞では、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

3. 持ち物

- ①教科書（中学生の音楽1）②音楽のキャンパスワーク ③コーラスフェスティバル ④筆記用具
⑤音楽ファイル

4. 学習の評価と方法

〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 【定期テスト】【実技テスト】【演奏発表】【提出物】
II 思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【定期テスト】【実技テスト】【鑑賞の場合は批評文】
III 主体的に取り組む態度	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【定期テスト】【実技テスト】【授業の取組の様子】【ワークの記述】

5. 先生からのアドバイス

音楽の授業では、歌う・演奏するだけではなく、「感じること」「考えること」も大切にしてほしいと思います。同じ曲でも感じ方は人それぞれです。友達の感じ方に触れることで、自分の世界も広がっていきます。積極的に関わりながら、音楽の楽しさや奥深さを味わっていきましょう。

6. 年間学習計画

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと目標	評価の観点
1	1. 歌唱 「校歌」「浜辺の歌」 2 部合唱曲 「夢の世界を」 音楽祭課題曲「大切なもの」 自由曲「 」 2. 鑑賞 「春」(ヴィヴァルディ) 3. 楽典「音楽記号・用語」	・大きな声と正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きの発声を身に付ける。 ・曲に合わせた発声や、歌詞を理解して歌う。 ・詩の内容を大切にしながら情景を浮かべながら歌唱する。 ・ヴィヴァルディについて学習する。 ・使用楽器の特徴や曲構成を理解し、評価する。 ・曲の表情や速さ、強弱などを表す記号、標語について学び、楽曲をより深く理解するための手立てとする。	【評価の観点】 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に取り組む態度 【評価の方法】 1. 期末考査 楽典の生まれた背景や詩の内容、作詞、作曲者、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。 2. 実技テスト 発声を意識し、豊かな声の響き、表現の創意工夫等を評価する。 3. 授業の取組 主体的に学習に取り組み、自己の表現ができているか等を評価する。
2	1. 歌唱 音楽祭課題曲「大切なもの」・自由曲「 」 2. 鑑賞 「魔王」(シューベルト) 3. 創作 音のつながり方	・合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 ・シューベルト、ゲーテについて学習する。 ・詩の内容を理解し、良さを感じ取りながら鑑賞し評価する。 ・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる。	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価の方法】 1 学期と同様
3	1. 歌唱 「赤とんぼ」 卒業式合唱曲「 」 2. 器楽 箏「虫づくし」 3. 鑑賞 箏曲「六段の調」	・合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 ・箏に触れ、基本的な奏法を理解する。 ・楽器の音色や旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。	【評価の観点】 1 学期と同様 【評価の方法】 1 学期と同様